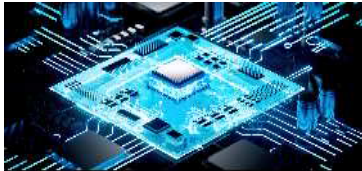


浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム講師派遣制度 プログラム一覧

1	「ミライの社会を覗いてみよう！」 ソフトバンク株式会社	【特記事項】 ・開催上限 年6回程度
【プログラム概要】 将来のデジタル社会の全体像や学校・教室の姿を、動画を交えながら紹介します。また、その中で自分の将来を想像し、自分とテクノロジーとのかかわりや、実現したい夢を考えてみましょう。 【講師団体概要】 https://www.softbank.jp/corp/		
2	「ドローンと私たちの社会生活について」 株式会社トラジェクトリー	【特記事項】 ・希望時間帯 午後
【プログラム概要】 ドローンが今後普及する過程において、どのように活用され、人々の生活をどのように改善していくかについて事例を交えてご説明させていただきます。必要に応じて飛行もします。 【講師団体概要】 https://www.trajectory.jp/		
3	「スポーツ×ICTのご紹介」 NTT 西日本株式会社	【特記事項】 ・特になし
【プログラム概要】 AI カメラや次世代型ライブ配信システムを活用したサッカー大会の配信等、スポーツと ICT を組合せた取組をご紹介します。 【講師団体概要】 https://www.ntt-west.co.jp		

4	「子育ての課題をデジタルで解決する」 認定 NPO 法人はままつ子育てネットワークぴっぴ	【特記事項】 ・対象 中学生・高校生 ・開催上限 年2回程度
【プログラム概要】 妊婦や乳幼児のいる家庭には生活する上で様々な課題があります。 行政だけでは解決できない地域の課題を、デジタルの力を活用した新しいサービスを提案し、人々の生活の質（QoL）を高め、浜松市が子育てしやすいまちになるよう取り組む NPO やプロボノの人々の身近な事例をお話します。 【講師団体概要】 https://npo.hamamatsu-pippi.net/		
5	「浜松市のスマート農業」 浜松スマート農業推進協議会	【特記事項】 ・特になし
【プログラム概要】 スマート農業によって今、農業の現場が変わりつつあります。新技術を駆使した「カッコいい農業」について、浜松市の事例を紹介します。 【講師団体概要】 https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/nousei/smart-kyougikai.html		
6	「さまざまな地図 (GIS) の活用」 株式会社フジヤマ	【特記事項】 ・特になし
【プログラム概要】 土砂崩れや洪水、火災が起きたとき、被害がどのように広がっていくのか。GIS（地理情報システム）を用いたシミュレーション技術によって、「危険な場所」を予測することができます。さらに、最新のセンサー技術と地図をリアルタイムでつなぎ、刻々と変わる災害状況を素早くキャッチして避難に役立てる、最先端の防災対策について取組をご紹介します。 【講師団体概要】 https://www.con-fujiyama.com/		

7	「産業分野におけるイノベーション創出と DX」 リンクウィズ 株式会社	【特記事項】 ・ 特になし
【プログラム概要】 産業分野におけるイノベーション創出と製造現場でのデジタルトランスフォーメーションを紹介します。 【講師団体概要】 https://linkwiz.co.jp/		
8	「視覚障がいと ICT」 特定非営利活動法人 六星 ウイズかじまち	【特記事項】 ・ 特になし
【プログラム概要】 視覚に障がいのある人たちが ICT 機器をどのように使うのか、またその有用性についてお話しします。 【講師団体概要】 http://np06seiwith.sakura.ne.jp/		
9	「ドローン講座」 企業組合フジヤマドローン	【特記事項】 ・ 特になし
【プログラム概要】 学年や地域にあった内容で、ドローンに関する講話やドローンの操縦体験、ドローンプログラミング体験を実施します。 【講師団体概要】 https://fujyamadrone.club		
10	「『半導体』から学ぶ、未来をつくる IT の仕事の おもしろさ」 三栄ハイテックス株式会社	【特記事項】 ・ 対象 中学生・高校生
【プログラム概要】 「半導体ってなに？」という基本から、それがどのように社会を変えているのかを、身近な例で分かりやすく解説します。 【講師団体概要】 https://www.sanei-hy.co.jp/		 



11	「その AI の答え、本当に正しい? — 生成 AI 時代の「考える力」」 株式会社 R o o t	【特記事項】 ・ 開催上限 年 3 回程度
【プログラム概要】 生成 AI が身近になるこれからの社会で大切なのは、使うか使わないかではなく、どう使うか。AI に振り回されず、自分で判断し、活用するための情報リテラシーを身につけます。 【講師団体概要】 https://root-for.co.jp/		



※プログラム一覧は講師登録順に掲載しています。